

平成 25 年度 木更津市健康づくり推進協議会 議事録

開催日時：平成 25 年 8 月 8 日（木） 10:00～

会場：本庁 6 階会議室

出席者 健康づくり推進協議会委員（14名）

欠席者 木更津市スポーツ推進委員会 青木委員

木更津市民生・児童委員協議会 励波委員

木更津市農業協同組合 花澤委員

事務局 茅木参事、石橋副参事、小磯副主幹、地曳副主幹、榎本主査、三浦主査、草苺主査

記録者 草苺主査

事務局（小磯）

定刻となりましたので、ただ今から平成 25 年度木更津市健康づくり推進協議会を開催いたします。私は、本日の進行を担当いたします。

健康推進課の小磯でございます。よろしくお願い申し上げます。

会議の開催にあたり、お手元の資料の確認をお願いします。

資料は、会議次第と会議資料、委員名簿、座席表、木更津市健康づくり推進協議会要綱、第 2 次健康きさらづ 21 の概要版でございます。

よろしいでしょうか？不備がございましたらお申し出ください。

それでは、これから議事に入りますが、本日の会議は、委員 18 人中 15 人の出席をいただきました。

よって、木更津市健康づくり推進協議会要綱第 6 条第 2 項の規定により、会議は成立いたしました。

なお、同要綱第 6 条第 1 項の規定により会長が議長となることとされており、会長は、君津木更津医師会第一部会の重城会長ですので、これからの議事については、重城会長に進行をお願いします。

重城会長

君津木更津医師会の重城でございます。

さて、今年健康づくり推進協議会は、平成 24 年 3 月に策定された「第 2 次健康きさらづ 21」のはじめての進捗管理となります。

本日、お集まりの皆様は、健康づくり推進者の代表としてご出席いただいておりますので、市の健康づくり事業を客観的に評価し、よりよい事業が実施され、目標項目が達成できるよう意見交換をしていただきたいと思いますと考えております。

皆様からの忌憚のないご意見を頂戴できるよう議長として務めさせていただきます。

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

それでは、早速、議題 1 の「各種衛生統計からみた木更津市の現状報告」

事務局（草苧）	<p>について事務局から報告をお願いします。</p> <p>資料にそって説明</p>
議長（重城会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>只今の報告で、質問意見などがあればお願いします</p> <p>それでは、議題2の「第2次健康きさらづ21目標項目の進捗状況」について事務局から報告をお願いします。</p>
事務局（石橋）	<p>資料にそって進捗報告</p>
議長（重城会長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>只今の報告で、質問意見などがあればお願いします。</p> <p>それでは、議題3の「各部会の取り組み状況報告」について事務局から報告をお願いします。</p>
事務局（茅木）	<p>私からは、8月2日に開催されました健康きさらづ21推進委員会で、各部会の委員長から平成24年度の取り組み結果、平成25年度の活動予定について、報告を受けましたので、その結果について報告させていただきます。</p> <p>資料は、2ページからです。</p> <p>まず「こどもの健康づくり推進部会」です。</p> <p>こどもの健康づくり推進部会での取り組み方針は2点ございます。</p> <p>1点目は、小児生活生活習慣病予防健診のシステムづくり、2点目が地域の子育て世代からの情報収集作業から実態把握を行い、部会内で情報共有しながらそれぞれの事業の効果的な展開を目指すことです。</p> <p>平成24年度での具体的な取り組みとしては、</p> <p>波岡中学校、請西小学校で健康教育を実施しました。</p> <p>このおやつに適正な摂取状況についての健康教育を実施し、子ども達のおやつの食べ方に関して、アンケートもとりました。その結果、おやつの全体的なおやつ摂取量は見えても、それが子どもたち一人一人のどんな健康問題に結びついているのかが見えないことが課題であり、血液検査データと突合し関連をみていく必要があるのではないかという課題が残りました。</p>

	<p>また、部会の中で子どもの健康に関する情報交換を行ったところ、生活習慣病を予防するために実施している市内小中学校で実施している小児生活習慣病予防健診について、その事前事後指導の統一化がなされていないという課題が出ました。</p> <p>前年度の活動から出された課題をもとに、平成 25 年度の取り組みとして、近年、児童数が増加している八幡台小をモデル校として小児生活習慣病の事前事後指導を実施しています。</p> <p>3 ページの資料をご覧ください。</p> <p>今年度の小児生活習慣病予防健診は、すでに 5 月に終了しています。</p> <p>この結果に基づき左側のハイリスクアプローチとして、要指導と判定された 29 名のうち、保護者の承諾が得られた親子について、保健師、養護教諭とで面接をしています。面接では、こどもと親がこどもの生活習慣改善のための目標を設定し、それについて取り組んでもらい、一定期間をおいた後、学校医等で再検査を実施していく予定です。</p> <p>右側のポピュレーションアプローチについては、対象は、健診を受診したすべての児童に対して養護教諭、保健師による集団教育を実施する予定です。</p> <p>また、こどもの健康づくり推進部会からの提言として、現在、市内小中学校での禁煙対策の統一化がなされていないことから、敷地内全面禁煙の完全実施を平成 26 年 4 月からできるよう整備を求めています。</p> <p>つづいて、4 ページの働きざかりの健康づくり推進部会です。</p> <p>この部会の取り組みの方針は、働きざかり世代の健康づくりを支援していくため、この世代が多く属する中小企業などの健康課題の把握をし、把握した課題を共有し、各課の事業の効果的な展開を目指していきます。</p> <p>平成 24 年度の部会活動の中では、働きざかり世代が属する、おもに中小企業の健康管理の実態がわからないということで、商工会議所の協力を得て、面接によるアンケート調査を実施することができました。</p> <p>その結果、健康診断は実施していても結果のフォローや被扶養者の健診、がん検診の実施までは、小規模企業ほど行えていないという実態があったこと、市で実施している健康相談、健康講座や健康づくり事業など市の事業の情報が知られていない等の課題がつかめました。</p> <p>平成 24 年度の課題をふまえ、平成 25 年度は、働きざかり世代の人が</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

市の健康に関する事業を知り、必要な検診や健康づくり事業に参加できるよう、企業向けに市で実施している健康づくり事業の情報を発信していく活動をしていきます。

具体的には、商工会議所の協力を得、商工会議所が定期的に発行している会報に、市の各担当課の実施する事業のチラシを折込み、配付していただく予定になっております。すでに準備をし、8月15日の会報配付にあわせて配付してもらう予定となっております。

今後は、市で実施する事業一覧の小冊子を作成し、社内に設置したり、回覧してもらうなど、市の事業を知ってもらうような取り組みを考えています。

つづきまして、5ページのこころの健康づくり推進部会の取り組みです。

こころの健康づくり推進部会は、平成23年の庁内対策庁内推進会議が母体となっており、第2次健康きさらづ21では、自殺予防を含んだ心の健康づくりを推進しています。

部会の取り組み方針としては、こころの健康づくりに対して、市民の意識の向上をめざすことと、身近な相談者を増やすということで、こころサポーター、人材育成をしていきます。

平成24年度の取り組みですが、身近な相談機関一覧のリーフレットを作成し、配布をしました。

また、人材育成として相談対応者の資質向上のため、千葉いのちの電話から講師を招き、研修会を2日間実施し、79名の参加がありました。

庁内では、さまざまな相談窓口があり、相談の内容もさまざまであることから、それらの相談の中でとくに心に問題をかかえている場合の対応や対処について、他課・他機関との連携がとれることを目的に相談対応マニュアルの作成を検討をしております。

平成25年度については、前年度の課題をふまえ、庁内相談対応・連携マニュアルを作成していきます。

2点目は、こころの健康づくりステッカーを作成します。

自殺予防及びこころの健康をテーマとしたステッカーの作成し、公共施設等に掲示し、心の健康について意識を高めるよう働きかけていきます。

また、相談機関一覧リーフレットは、平成24年に作成をしたものの相

談機関等の修正や追加をなど更新作業を行ったうえで、再度、市民へ情報提供していきます。

その他、引き続き、人材育成の活動として、研修会を開催する予定としています。

最後に 6 ページをご覧ください。食育推進部会の取り組みです。

食育推進部会では、関係機関と情報共有をし、さまざまな機会を捉えて各世代に地産地消などの食育推進を展開していくことを取り組み方針として活動していきます。

平成 24 年度の取り組みですが、

1 点目として、庁内においても、食育の日を PR するために毎月 19 日に「食育の日」の啓発のため、IPK、庁内 LAN で周知を図りました。

2 点目として、部会の委員から学校給食の実態を知りたいという要望が出たことから、給食センターの見学及び給食の試食会を実施し、その中で、徹底した衛生管理や食物アレルギーの子への対応を知る活動ができました。

3 点目は、乳幼児を対象とする児童家庭課と健康推進課との栄養士の意見交換会を実施しました。それぞれの状況や指導内容を確認し、今後の連携方法を協議しました。

4 点目は、「地産地消」についてですが、ブルーベリーが県下 1 位、海苔が県下 2 位の生産量であることを部会委員も知らなかったことから、市民への周知の必要性を感じました。また、「海苔師の会」の協力により 3 歳児健診で海苔の配布ができるようになり、おやつを見直す機会になっています。

5 点目は、給食用食器の購入です。

以前より、自校式給食では、お茶碗に相当する食器がなく、その結果平皿で対応していました。そのため学校栄養士から「犬食いになりやすく、食事マナーの教育ができない」「食器が自校式と給食センターでは格差があり平等性に欠ける」などの意見があったことから、給食センターと協議を重ね、長年の懸案であった椀型食器の購入が実現しました。

これにより児童生徒の食行動に変化がみられマナーの改善が図られましたが、いまだ食器の整備が不十分であることや、食器の洗浄や運搬、収納に課題が残っています。

	<p>平成 25 年度の取り組みは、食育の啓発を中心にした活動をすすめています。</p> <p>具体的には、商工観光課作成の地産地消マップを農林水産課から学校や保育園、公民館等関係部署で配布をし、地産地消を広く周知をすること、食育の日の啓発を、各所属でも強化する。ほかにも、食育の啓発のための媒体として、歌を作成するなど引き続き啓発活動を実施していきます。</p> <p>また、歯科医師会の協力のもと、歯科医師による「口腔機能と食」についての講演会を 1 月に実施を予定しています。</p> <p>最後に、学校や保育園などで安定した地元食材の供給ができるような体制整備をめざし、生産者の販路を見出すため、関係機関からの情報収集や協議を行うなどの活動を計画しています。</p>
議長（重城委員）】	<p>ありがとうございました。以上の報告で何か質問等がありますか。</p>
石井委員（君津健康福祉センター）	<p>今回、第 2 次健康ちば 2 1 の策定にあたり、君津管内の女性の喫煙率が高いことが課題にあがりました。</p> <p>木更津市では、妊娠届出の際の個別面接を通じて、妊婦さんの喫煙状況を聞いていると思います。生活習慣病とははなれますが、普通ほとんどの方が妊娠すればたばこをやめていると思います。</p> <p>しかし、今回の結果でも 6 % ぐらいの妊婦さんがたばこを辞めていないことから、どんな理由でたばこを吸い続けるのか把握していれば教えてください。</p>
三浦主査	<p>今年度から妊娠届出を全数交付し、全員に面接しています。</p> <p>妊娠を機にやめている人がほとんどです。また、たばこの害についての資料を作成し説明もしています。資料を使って説明をしていますと、たばこの害について具体的に知らなかったという反応もあることから、知らないことが喫煙継続につながっていることも考えられます。</p> <p>また、どうしてもたばこが辞められないという人は、家族も吸っていることから禁煙について理解が得られにくい環境にあります。</p> <p>そのような場合は、保健師から家族に話をしましょうかと提案するこ</p>

<p>浅井委員（木更津老人クラブ連合会）</p>	<p>ともありますが、たいていは、そこまではいいですと断ってきます。</p> <p>家族の協力が得られることが困難な場合もありますが、継続的にたばこの害については、説明をしていきたいと思っています。</p> <p>産後の喫煙復帰も課題の一つです。授乳中、育児中のお母さんの喫煙も問題です。</p> <p>健康日本からはじまって、健康ちば、健康きさらづということで充実して活動していただき、私も老人会で話をしています。</p> <p>老人クラブで、「こんなことがあって困ってしまう」という声が出れば、「包括支援センターに聞いてみれば」と答えます。そうすると「包括支援センターって何ですか」という声が返ってきます。</p> <p>市の福祉協議会でも健康についていろいろ考えてくれているのですが、なかなか浸透してかない状況です。</p> <p>市の実施している事業がなかなか末端まで浸透していないなと思います。</p> <p>福祉協議会では、訪問でほとんど机にはいません。忙しく一生懸命やっているにもかかわらず、みなさんのやていることは隅々まで浸透していないのです。</p> <p>これから PR というのも考えていかななくてはいけないと思います。</p> <p>何をやるんですかというのではなく、私たちは、こんなことをしていますとつたえていかななくてはいけないと思います。</p> <p>資料をクラブにもって行って説明していますので、いい機会で勉強させてもらっています。今後の要望としては、高齢者について数値目標が空欄なので、高齢者に対して、どのような取り組みをしていくのか、具体的な取り組みを考えていただければと思います。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------